

自殺の現状と関連する状況について

< 用語の解説 >

□ 自殺統計について

- ・ 自殺統計とは、警察庁による自殺に係る統計のことです。都道府県警察では、検死・死体調査により遺体の死因を自殺と判断したケースについて、案件毎に自殺統計原票を作成しており、データ化したものを警視庁において取りまとめています。日本における外国人を含みます。
- ・ 厚生労働省では、警察庁が取りまとめたデータの提供を受けて資料の作成を行い、地域における自殺の基礎資料として掲載しています。

□ 人口動態統計について

- ・ 人口動態統計とは、厚生労働省が実施する調査に基づく統計で、国の基幹統計の一つです。
- ・ 自殺を含む死亡と死因の統計については、死亡届/死亡診断書(死体検案書)に基づく人口動態調査死亡表を集計して作成されます。日本における日本人の集計が主です。
- ・ 住所地と死亡日時で集計をおこなっています。

□ 地域における自殺の基礎資料

- ・ 厚生労働省において、自殺の実態把握として地方公共団体職員等が利用することを目的に、警察庁から提供された自殺統計原票に基づくデータの加工統計です。資料の作成に当たっては、自死が行われた日(自殺日:A表)及び遺体が発見された日(発見日:B表)に基づいています。
- ・ 都道府県及び市町村別に集計するに当たっては、上記に自殺者が住んでいた場所(住居地)、遺体が発見された場所(発見地)をクロスして集計を行い資料としています。そのため、
○自殺日・住居地 ○自殺日・発見地 ○発見日・住居地 ○発見日・発見地
の4パターンで集計をしています。
- ・ 本会議の資料等に用いるデータは ○自殺日・住居地 のデータを基に作成しています。
- ・ 集計小目としては、年齢階級別や職業別、原因・動機別自殺者数などです。

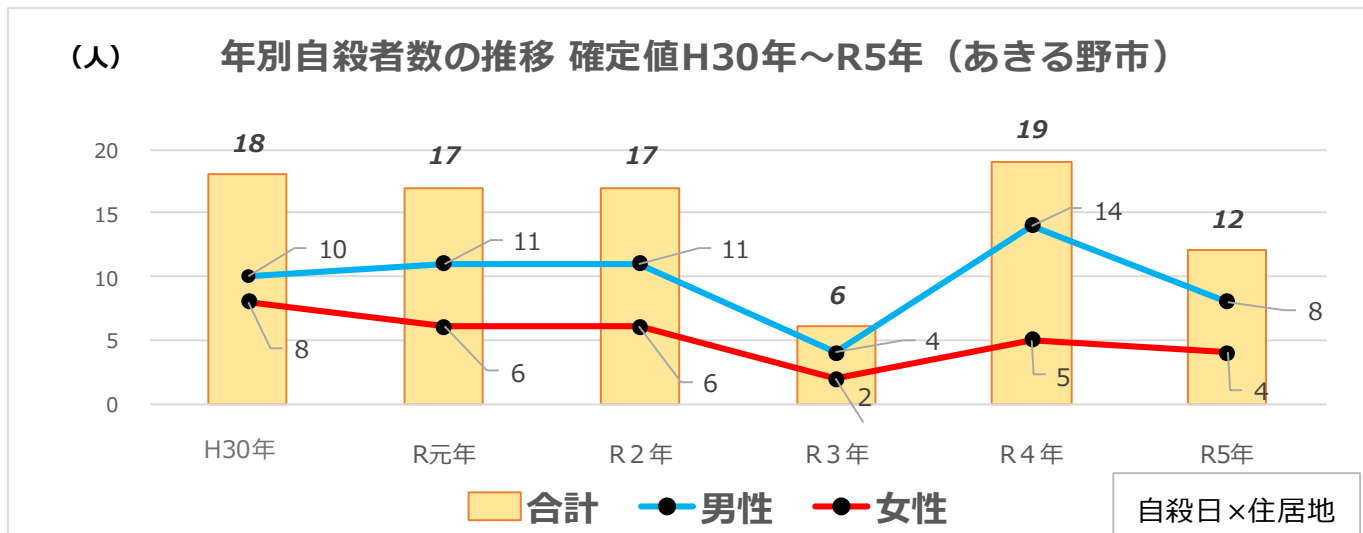
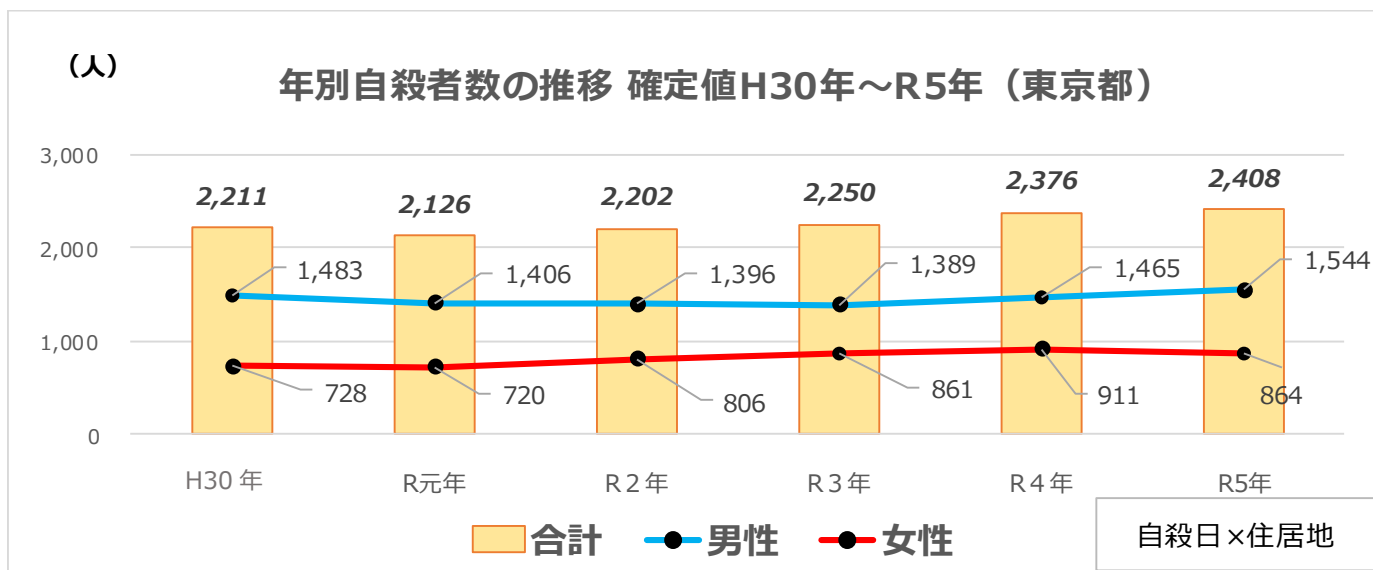
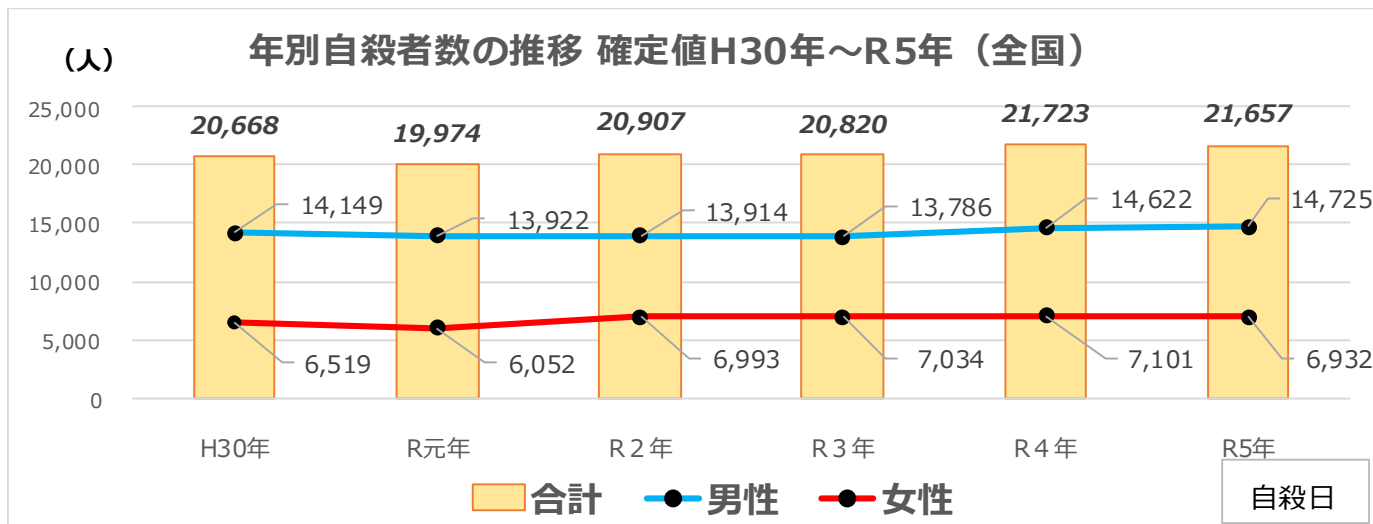
□ 暫定値、確定値の違い

- ・ 暫定値:ある月の翌月上旬頃に報告された自殺者数として、中旬頃に公表される値です。集計項目は月別、男女別、都道府県別の自殺者数です。
- ・ 確定値:ある年の確定した自殺者数として、翌年3月中旬頃に公表される値です。暫定値と同様に、集計項目は月別、男女別、都道府県別の自殺者数です。これ以外に、職業別や原因・動機別自殺者数などを集計しています。

■年別自殺者数の推移(平成30年～令和5年) 確定値(国、都、あきる野市)

(出典 厚生労働省ホームページ「地域における自殺の基礎資料」)

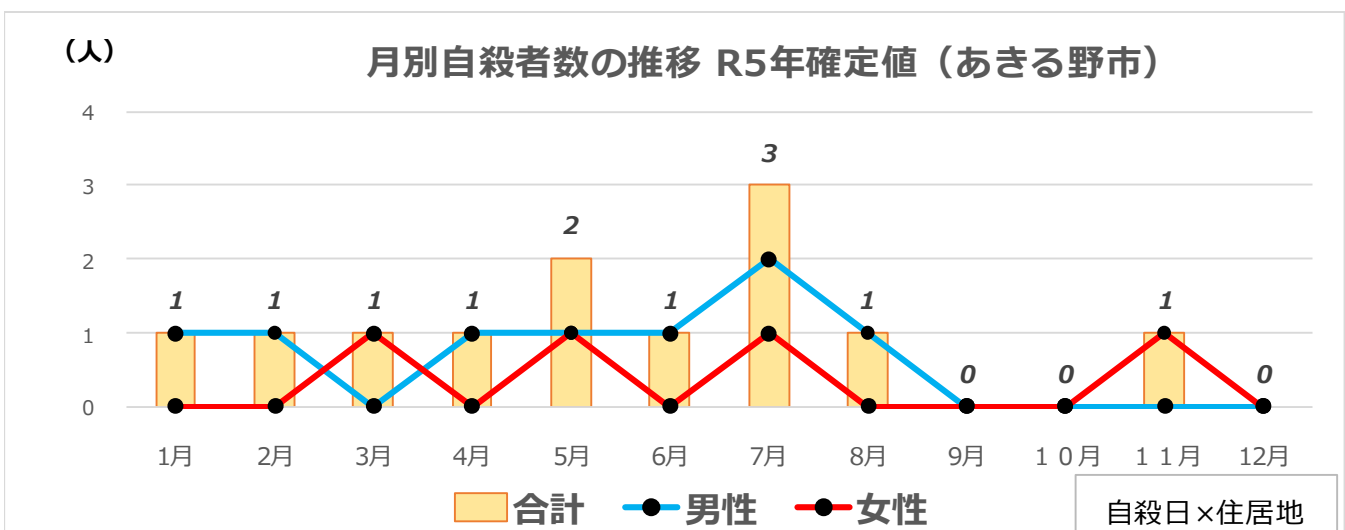
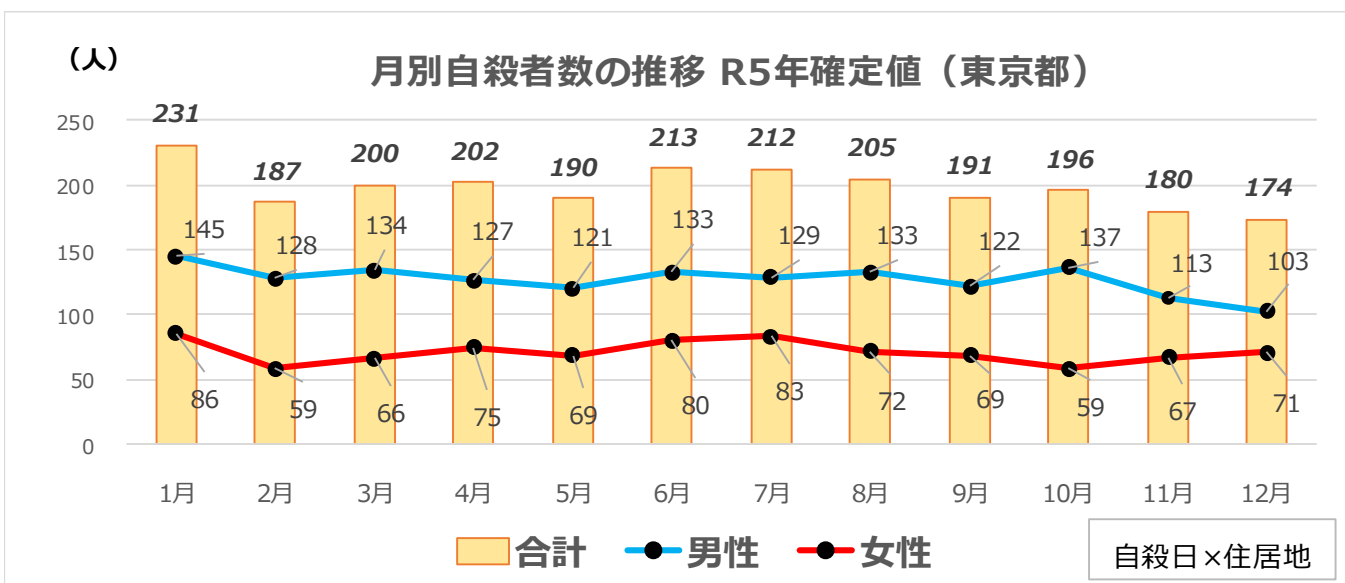
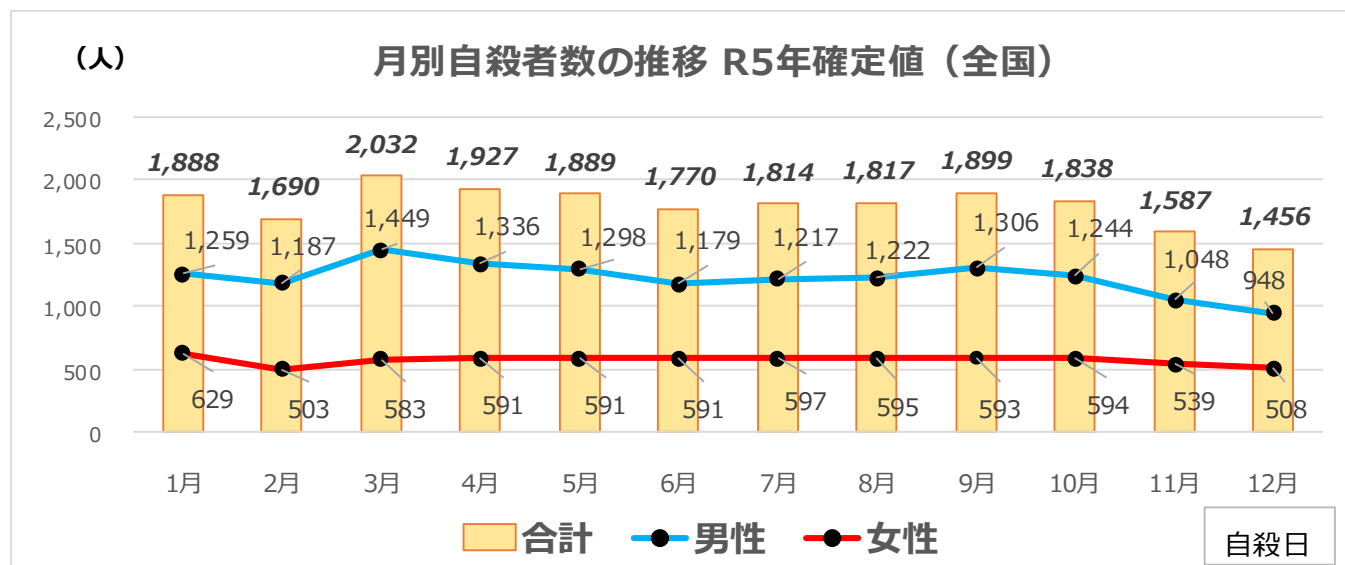
- ・令和5年の全国年間自殺者数(自殺日)は21,657人で依然として年間2万人を超える状況が続いている。
男性は2年連続で増加したが、女性は4年ぶりに減少した。男性の自殺者数は女性の2.1倍となっている。
- ・令和5年の東京都年間自殺者数は2,408人と過去5年で最も多い値となっている。
- ・令和5年のあきる野市年間自殺者数は12人(男性8人、女性4人)となっている。



■月別自殺者数の推移(令和5年) 確定値(国、都、あきる野市)

(出典 厚生労働省ホームページ「地域における自殺の基礎資料」)

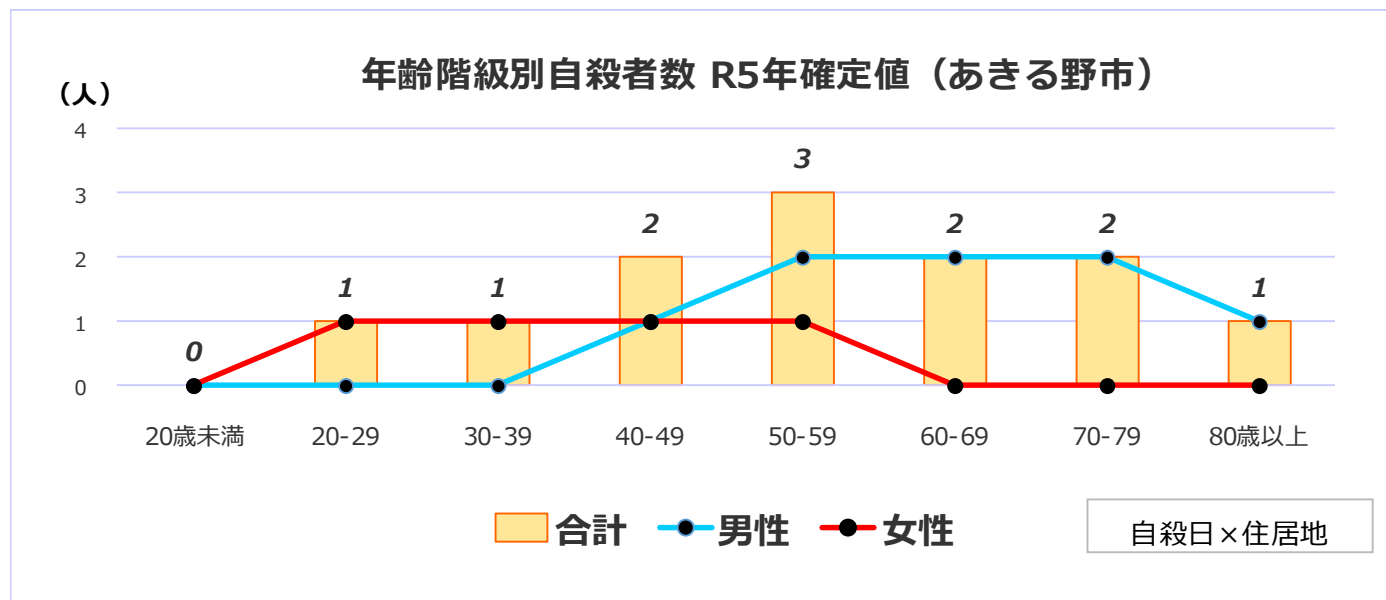
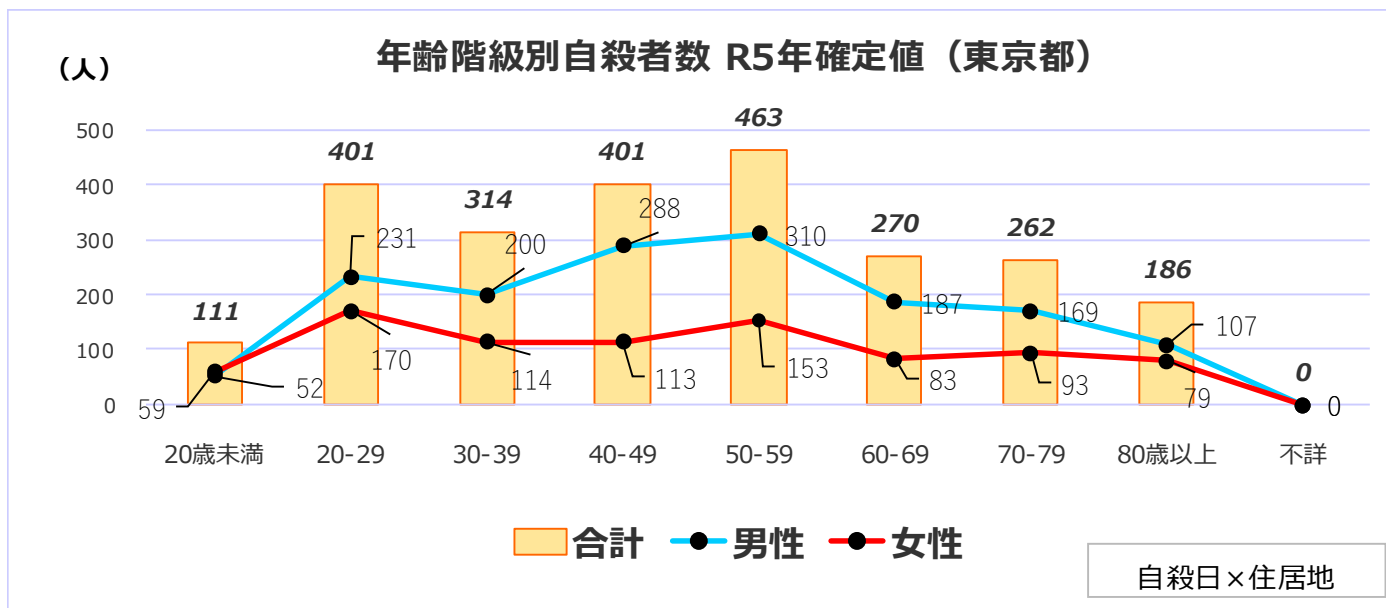
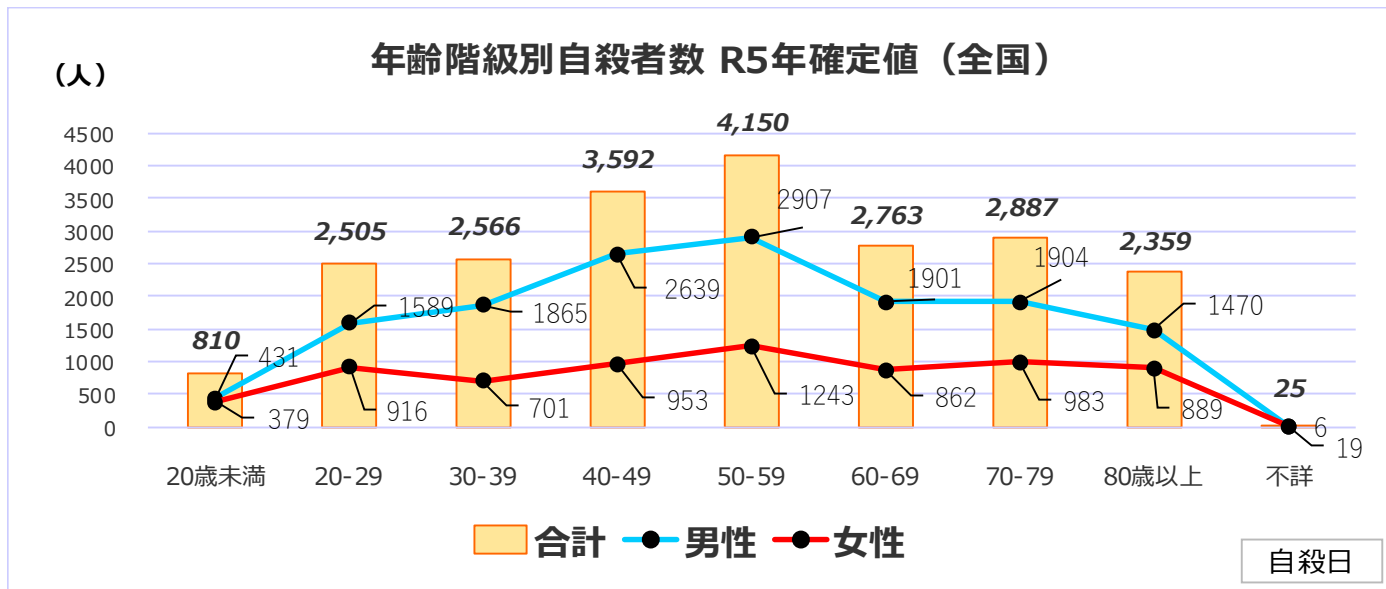
- ・令和5年の全国月別自殺者数(自殺日)は3月が最も多く、12月が最も少なかった。
- ・令和5年の東京都月別自殺者数は1月が231人、ついで6月が213人と多くなっている。
- ・令和5年のあきる野市年間自殺者数は7月が3人で最も多くなっている。



■年齢階級別自殺者数(令和5年) 確定値(国、都、あきる野市)

(出典 厚生労働省ホームページ「地域における自殺の基礎資料」)

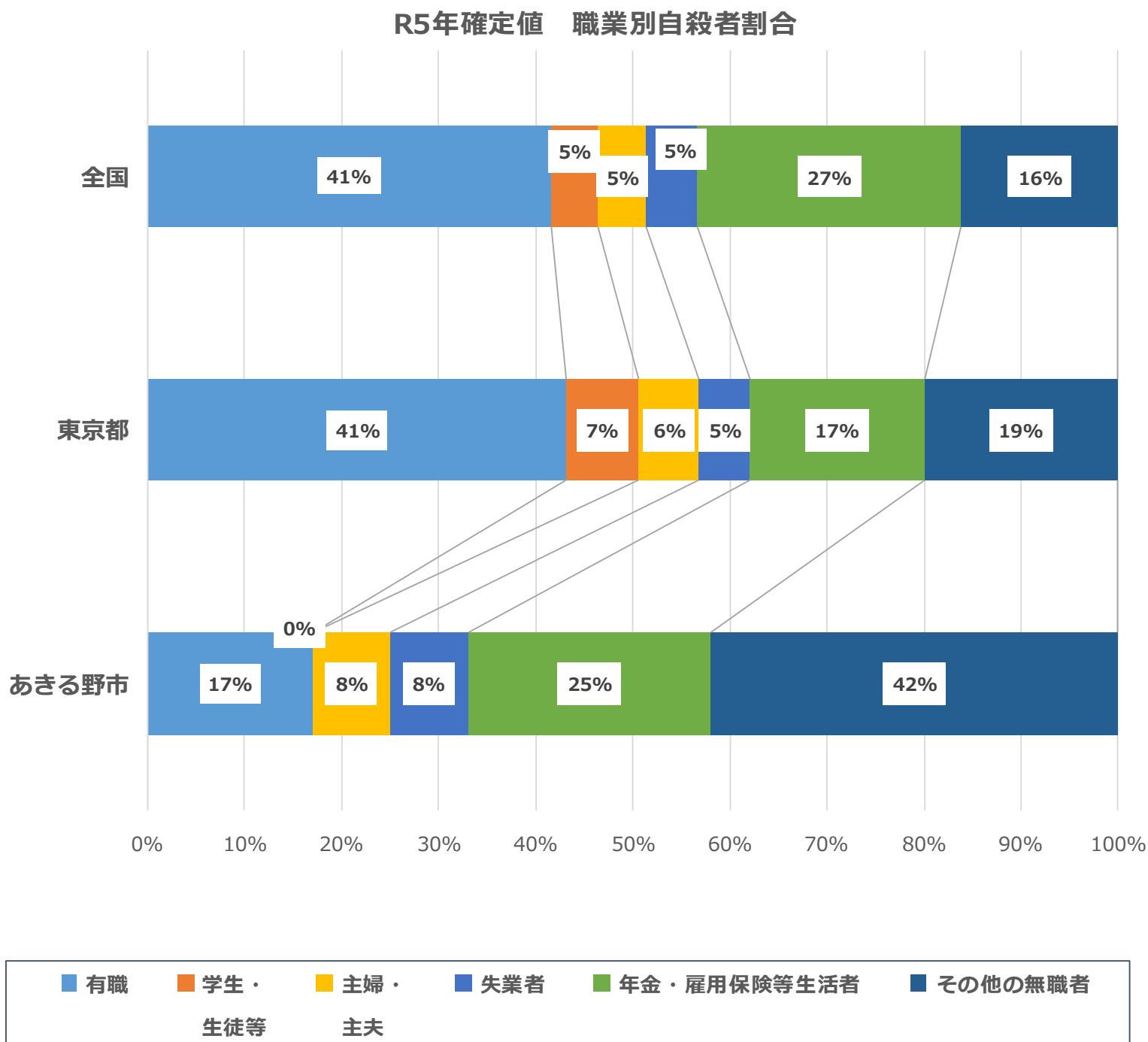
・全国、東京都、あきる野市いずれも50～59歳の割合が多くなっている。



■職業別自殺者割合(令和5年) 確定値(国、都、あきる野市)

(出典 厚生労働省ホームページ「地域における自殺の基礎資料」)

- ・全国、東京都では有職者の自殺者数が41%となっている。
- ・あきる野市では有職者の自殺者数は17%となっており、全国・東京都と比べて無職者の割合が多くなっている。

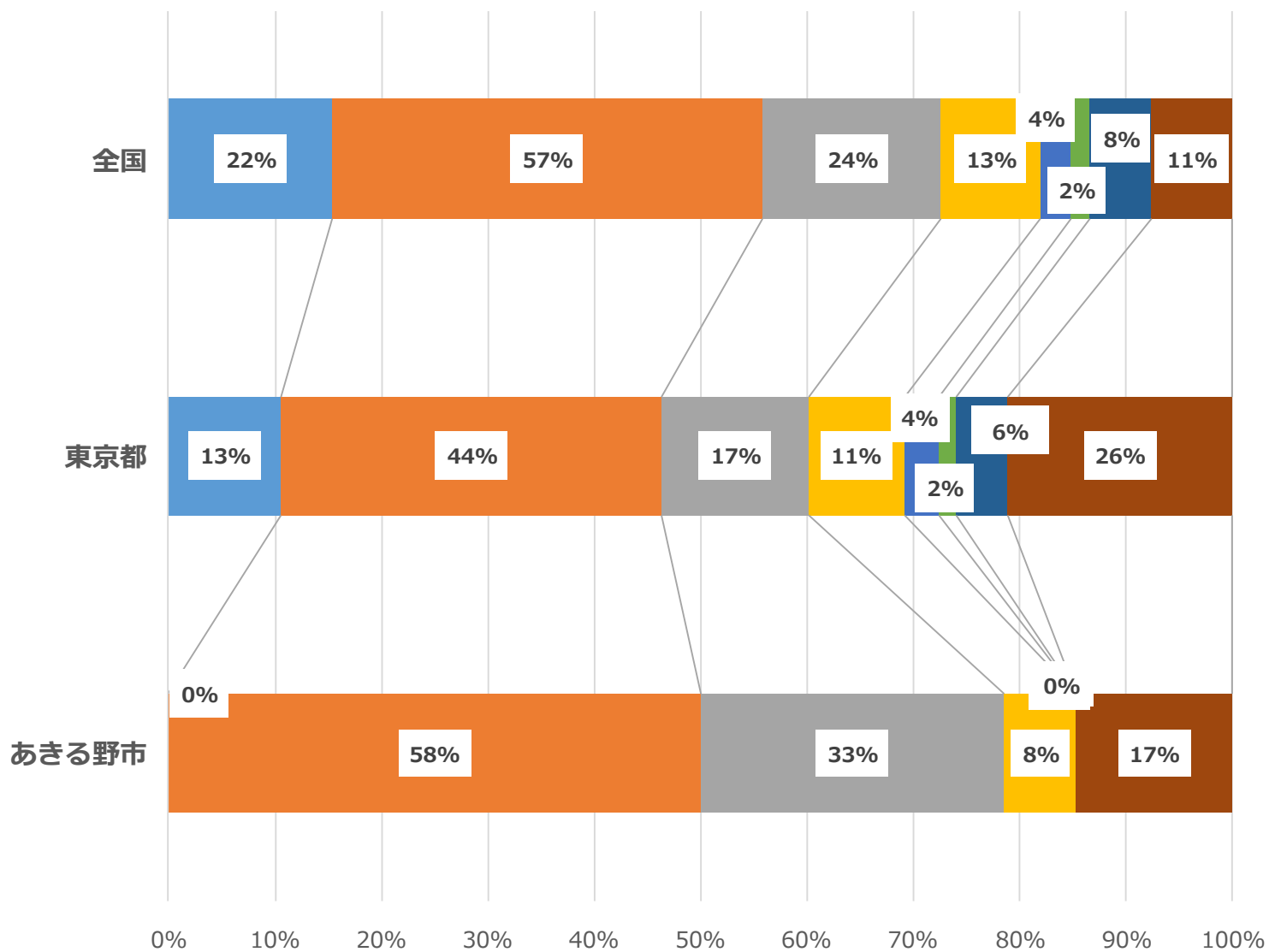


■原因・動機別自殺者割合（令和5年） 確定値（国、都、あきる野市）

（出典 厚生労働省ホームページ「地域における自殺の基礎資料」）

- ・全国、東京都、あきる野市いずれも健康問題が最も多い割合となっている。
- ・あきる野市では健康問題について経済生活問題が多くなっている。

R5年確定値 原因・動機別自殺者割合



■ 家庭問題
 ■ 健康問題
 ■ 経済・生活問題
 ■ 勤務問題
 ■ 交際問題
 ■ 学校問題
 ■ その他
 ■ 不詳